



第10回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会



2025年11月9日(日) 埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷南側
主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟
後援：国土交通省利根川上流河川事務所 加須市 羽生市 羽生市教育委員会
協賛：(公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社
株式会社パールイズミ 株式会社JPF

Communiqué.02-1

2025年10月30日

チーフ・コミッサー 森川和之

1. スタート間隔について

- 大会要項記載の特別規則では、「原則として30秒間隔」としているが、女子とクラス1およびクラス1相当と本連盟が認める選手は「1分間隔」でスタートするものとする。各自のスタート時刻を確認の上、遅れないように準備すること。

2. レース中の車両走行について

- コースは道路幅員が狭いため、四輪車は原則として走行出来ない。(救護車等が走る可能性は有り)
- チームカーの伴走は出来ない。
- 違反行為の観察はモータバイク審判員が適宜走行して行う。

3. 無線通信装置の使用

- レース中の競技者との無線通信その他の遠隔通信は禁止とする。

4. 指定PITと各指定PITへの移動について

- 本大会のコース内に指定PITを以下の通り男女とも2か所ずつ設ける。各指定PITには各チーム2名までが待機できる。女子の競技開始前までに各指定PITまでのコース上の移動を完了すること。
- 各PITに**学連より前後の代輪を用意するが、交換は選手自身が自ら行うこと。**
(本連盟により用意される代輪は、ディスクブレーキ仕様シマノ12段、リムブレーキ仕様シマノ11段ギアである)
- **また、各校にて用意した代車・代輪は、男女それぞれの2か所のPITにおいてのみ、交換を認める。**その他の地点におけるチームからの代車・代輪の交換は認められない。
- 各指定PITへの移動は、自転車もしくは徒歩で行うこと。また、**競技時間中のコース上の移動は禁ずる。**但し、下記の**女子の指定PIT③から男子の指定PIT②までの移動についてはコース内を自転車での移動を除き、徒歩で移動することを禁ずる。**
- トイレへの移動の際はコース外に出て、堤防上のサイクリング道路などを利用すること。チーム車両による移動は一切認めない。(本コース内へのチーム車両の進入は、競技中、競技時間以外にかかわらず一切認めない)
- 各指定PITでのゴミは、各校各チームで必ず責任をもって持ち帰ること。

5. 女子の指定PIT設置場所

- **女子については次の2か所とする。**ともにプログラムの指定PIT設置場所の地図を参照のこと。

指定PIT① 羽生スカイ公園そば(141.2km地点)

指定PIT③ 女子折り返し地点(147km地点) 女子個人ロードTTのみ

尚、指定PIT③は女子選手が全員折返し次第、閉鎖撤収する。競技役員と立哨員は続けて行われる男子競技での折り返し地点(指定PIT②)へ移動するので、各校チーム関係者も速やかに一緒に移動すること。その場にとどまることは許されない。(指定PIT③は、専用の空き地等が確保されているわけではなく、コース内に作る予定であるため)

- **女子指定PIT③から男子の指定PIT②への移動については、すでに男子選手がスタートしているので、男子選手との接触等を避けるため、女子指定PIT③から指定PIT②へコース内を自転車での移動を除き、徒歩で移動することは禁ずる。**徒歩の場合は、コースをいったん出て、コース外堤防上のサイクリング道路を利用すること。
- **指定PIT③からスタート地点に戻る者については、コース内を徒歩もしくは自転車で移動することは禁ずる。**コースを出てコース外の堤防上のサイクリング道路などを利用すること。

公式のレース結果はホームページで公開しています。 <http://jjcf.info/>





第10回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会



2025年11月9日(日) 埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷南側
 主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟
 後援：国土交通省利根川上流河川事務所 加須市 羽生市 羽生市教育委員会
 協賛：(公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社
 株式会社パールイズミ 株式会社JPF

CommuniquéNo.2-2

6. 男子の指定 PIT 設置場所

- 男子については次の2か所とする。ともにプログラムの指定 PIT 設置場所の地図を参照のこと。

指定 PIT① 羽生スカイ公園そば(141.2km地点)

指定 PIT② 男子折り返し地点(150km地点) 男子個人ロードTTのみ

尚、指定 PIT②については女子選手が全員折返しを終了し、競技役員・立哨員が配置されるまで開設しない。

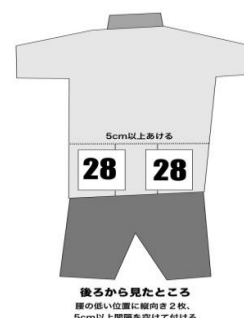
7. ゴミ投棄の禁止について

- 例年、コース脇へのボトル、食料、包装紙等のゴミのポイ捨てが散見されるが、回収が困難な場面も多々あり、こうした行為が今後の会場借用に支障をきたす可能性もある。これらゴミのポイ捨てに関して一切厳禁とする。
- 上記に違反するボトル、食料、包装紙などの廃棄には、3000 円/件のペナルティを科すものとする。
- その他、大会中に発生したゴミについても、各自で必ず持ち帰ること。

8. ゼッケン・フレームプレートの取付け

- 本大会では、ゼッケン 2 枚(右図) + フレームプレートの着用を義務づける。ゼッケンの付け方は右図のようにつけること。なお、ゼッケンとゼッケンの間は最低 5cm 以上空けること。
- ゼッケンとフレームプレートの返却は必要ない。
- フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側につけること。
- フレーム前部に取り付けることが不可能な場合、シート部に取付けることを認めるが、脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定すること。

ゼッケンの間は 5cm 以上



9. バイクチェック・サインシート・器材について

- 選手は、自転車・ヘルメットを持参してそれぞれの出走 15 分前までにバイク・インスペクションを受けること。
- 出走サインは自筆にて行うこと。
- 大会要項の特別規則(器材)の項にあるように、当連盟 HP に掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。
- クラス 3 の選手については、ディスクホイールやタイムトライアル専用バイクの使用、エクステンションバーの取付けを禁止する。
- これら器材に関する条項に違反していることがスタート時に発覚した場合は、スタートは拒否される。スタート後及びゴール後に違反していることが発覚した場合は、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となることがある。
- レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。
- ハイトカテゴリー；カテゴリー 2 以上の選手については UCI リスト申請することを基本とする。UCI リスト登録のない 180cm 以上の選手は“カテゴリー 1”として扱う。
- 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

10. 映像ユニット等の取付けについて

- 映像ユニット等を自転車に付加して走行することは原則許可しますが、J C F 競技規則第 42 条 3.(2) d) ⑤ 規定を順守することを前提とします。また、映像の所有権について、本大会 レース中に撮られたものは、原則、日本学生自転車競技連盟に帰属するものとします。以上

公式のレース結果はホームページで公開しています。 <http://jjcf.info/>

